

トヨタモビリティパーツ株式会社 福島支社

健康経営の取組み

トヨタモビリティパーツ株式会社 福島支社
支社長 檜原 知史

健康経営方針

基本理念

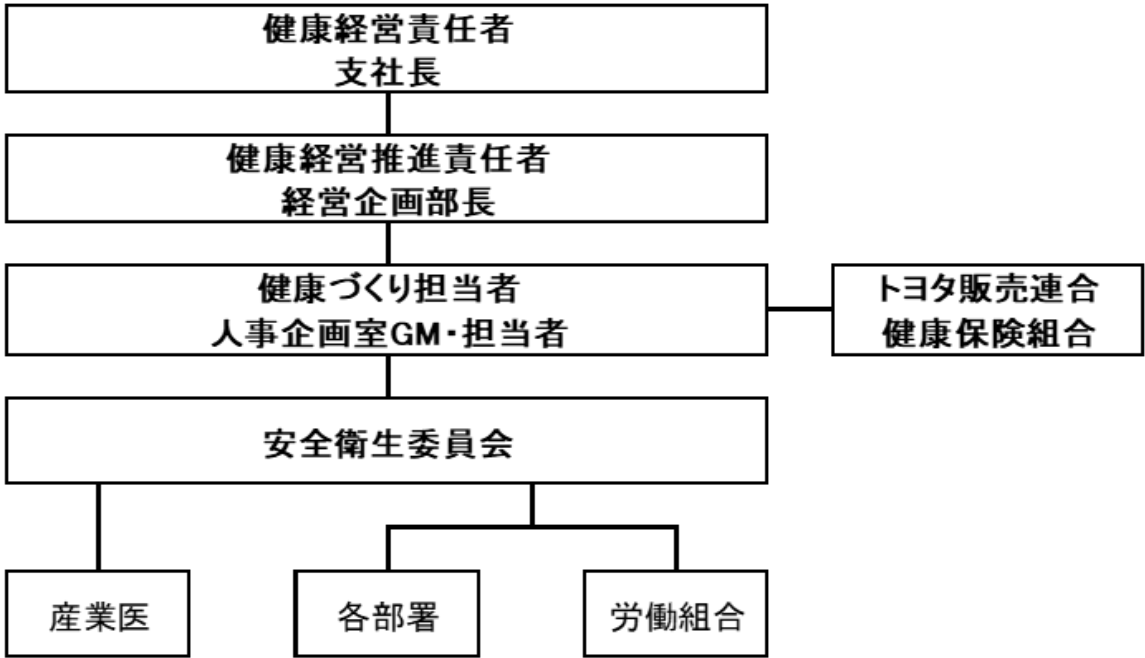
社員一人ひとりの健康は、生涯にわたって幸福であり続けるため、
ならびに、当社発展の基盤でもあります。
当社では社員一人ひとりが主体的に健康増進を図り、
会社は安全・健康・快適な職場(環境)の実現に取り組めます。
ここに「健康経営宣言」を行い、下記の基本方針を掲げ、
継続的に社員の健康保持・増進に取り組むことを宣言します。

基本方針

健康管理支援	管理結果への対応	健康推進活動の推進	メンタルヘルス対応
社員の健康管理のため、定期健康診断100%受診の実施、過重労働監視、健診結果の管理等により、社員の状況を明確にタイムリーに把握します。	左記、健康管理の結果に基づき、産業医への受診、過重労働対策、再検査の推進、重症化予防、高リスク保有者への対応を行います。	運動イベント、情報発信等、様々な活動を通じ、社員健康増進を推進します。	定期教育、ストレスチェックの実施を通じ、メンタルケアを推進します。

健康保持推進体制

〈目的〉 社員一人ひとりが主体的に健康増進を図り、会社が安全・健康・快適な職場(環境)の実現を図るため
下記の体制にて健康増進に取り組んで参ります



取組み内容・実績

● 定期健診受診率(実質100%)	● 私病等に関する復職・両立支援の取り組み	● 喫煙率低下に向けた取り組み
● 受診勧奨の取り組み(再検査該当者へのフォロー)	● 保健指導の実施及び特定健康指導実施機会の提供に関する取り組み	
● ストレスチェックの実施	● 運動機会の増進に向けた取り組み	
● 管理職、従業員への健康に対する教育機会の設定	● 女性の健康保持・増進に向けた取り組み	
● 適切な働き方実現及び育児・介護の両立支援の取り組み	● メンタルヘルス不調者への対応に関する取り組み	
● コミュニケーションの促進に向けた取り組み	● 感染症予防に関する取り組み	



トヨタモビリティパーツ株式会社は
健康経営を推進していきます

健康経営とは、企業が従業員の健康管理を経営課題としてとらえて積極的に改善に取り組み、従業員の健康を増進することで生産性の向上や組織の活性化につなげることです。健康経営を通じて、社内の雰囲気がよくなり、企業に愛着を持てることを目指します。若返る。早く家に帰る。気持ちを切り替える。などこれから、みんなの健康に関する案内をしていく「TMびよんた」と言います。
健康でないと、笑顔にもなれないし、元気が 出ない、仕事もうまいかない…みんなの健康を推進していきます！